

愛媛大学医学部附属病院

総合診療サポートセンター(TMSC)のMission

『患者の生活を切らないその人らしい生き方を実現する支援を目指す』

総合診療サポートセンターは、医療のスタート地点である急性期病院から、患者をより早く生活に戻すために、地域の医療機関と連携する窓口です。様々な職種が患者さんを取り巻くチームとして協力し、生活上の問題や心配事などについてともに考え解決に向けてお手伝いします。

また、地域での切れ目ない医療、安心・安全な医療の提供に向けて、かかりつけ医推進や、入院関連機能障害(HAD)予防のための『あいだい体操』推進にも取り組んでいます。



毎年病院訪問を行い、顔の見える連携を心がけています

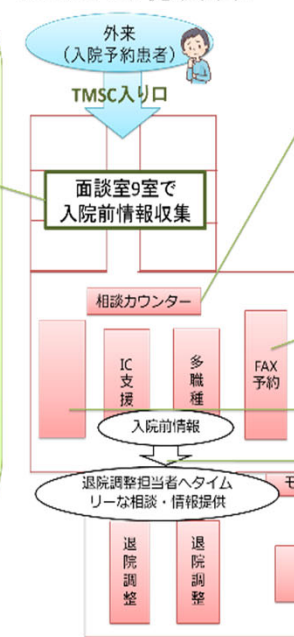


各種加算取得により、病院の経営にも参画しています。

【多職種による支援の実際】

- 【入院前支援】
1. 事務員による入院案内 身長・体重測定
  2. 看護師による情報収集 入院オリエンテーション 各種スクリーニング 退院困難な要因をアセスメントし、多職種へ連携
  3. 薬剤師・栄養士による面談 薬剤情報、食形態、アレルギー等の聴取
  4. 歯科衛生士の面談 口腔ケアスクリーニングの内容を変更
  5. 臨床心理士、遺伝カウンセラー、専門・認定看護師の面談 必要に応じて連携

<TMSCフロア見取り図>



各種相談に対応 (がん相談員、難病相談員、メディエーターを配置)

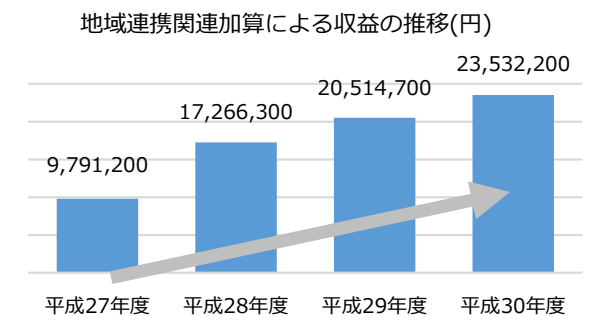
多職種カンファレンス 毎朝20分程度、症例検討

退院支援依頼振り分け 入院前情報、外来・病棟からの情報を元に 担当者決定

FAX予約担当から翌日の予約患者情報を把握

入院前情報を退院調整 MSW・NSへ提供し 入院前から地域と連携

部門カンファレンス (1回/週)・退院支援情報 交換(毎日30分程度)



【今後の取り組み】  
2019年3月に導入した、ICT; Information and communication technology (HiMEネット)を活用し地域との連携を強化します。